

地盤災害の復旧作業における労働災害防止に関する研究

東京都市大学 学生会員 ○野田 昌志

(独) 労働安全衛生総合研究所 正会員 堀 智仁

(独) 労働安全衛生総合研究所 正会員 吉川 直孝

(独) 労働安全衛生総合研究所 正会員 伊藤 和也

(独) 労働安全衛生総合研究所 正会員 玉手 聡

東京都市大学 正会員 末政 直晃

1. はじめに

毎年梅雨や台風シーズンになると土砂崩壊が全国各所で発生し、家や道路、農地、林地が大きな被害を受け、場合によっては人命が失われることもある。我が国は、国土の70%以上が山地や丘陵地で占められるという地理的な特徴を有しており、鉄道や道路などの主要な交通網は山間部や海岸沿いの急斜面下を通過するものが多い。そのため、土砂災害による交通網の寸断は広い範囲に影響を与えるので、迅速かつ確かな復旧工事が要求される。しかしながら、同工事は十分な調査を待たずして開始される場合があり、これに携わる作業員は不安全な状況下で作業を強いられることもある。実際に地震や台風等による地盤災害の緊急工事において労働災害(2次災害)に発展したケースも報告されている。

本報告では、平成19年能登半島地震、平成16年新潟県中越地震、平成19年新潟県中越沖地震における労働災害の発生状況について調査した結果から、災害復旧工事における労働災害の特徴について分析を行った。

2. 各地震の概要

近年発生した3つの地震についてまとめた。図-1~3にそれぞれの地震の震度分布図、表1に被害状況を示した。

2-1. 能登半島地震

能登半島地震は、平成19年3月25日9時42分頃、能登半島沖で起きた地震である。石川県の七尾市、輪島市、穴水町で最大震度6強、マグニチュード6.9が観測された。

2-2. 新潟県中越地震

新潟県中越地震は、平成16年10月23日17時56分頃に起きた地震であり、新潟県川口町で最大震度7、マグニチュード6.8が観測された。

2-3. 新潟県中越沖地震

新潟県中越沖地震は、平成19年7月16日10時13分頃に起きた地震である。新潟県柏崎市、長岡市で最大震度6強、マグニチュード6.8が観測された。

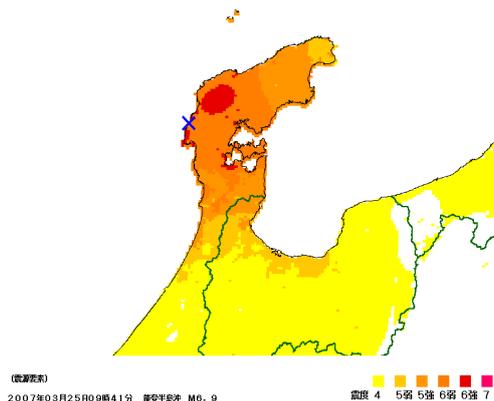


図-1 能登半島地震・震度分布図³⁾

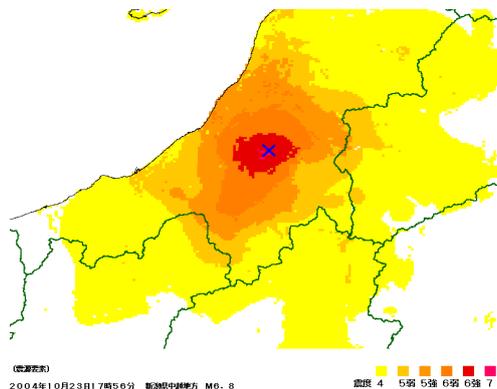


図-2 新潟県中越地震・震度分布図³⁾

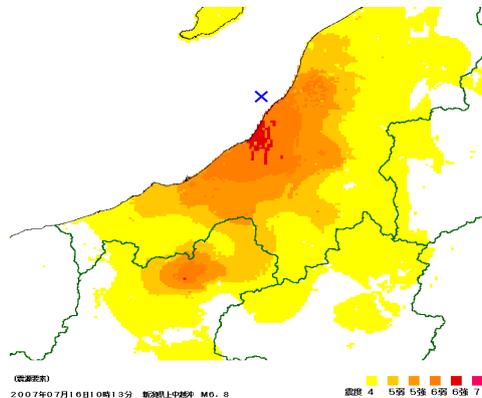


図-3 新潟県中越沖地震・震度分布図³⁾

キーワード 労働災害, 災害復旧工事

連絡先 〒158-8557 東京都世田谷区玉堤 1-28-1 東京都市大学 TEL03-5707-0104 E-mail:g0617076@tcu.ac.jp

